

1982年



中国敦煌壁画展を開催 当協会と毎日新聞社の主催による二十四年ぶりの敦煌展。開幕式での(左から)宮川寅雄理事長、山内大介毎日新聞社社長、任質斌中国国家文物局局长、宋之光中国大使

——1982年4月8日 東京・日本橋高島屋



国交正常化10周年を記念し、文楽が初訪中、北京と上海で「平家女護島」などを上演した。万里副総理(右一)は、訪中日本文楽公演団の佐伯勇団長(左一)、山本弘顧問(左二)らと会見した

——1982年8月18日 北京・中南海



朱舜水記念碑を建立 日中文化交流の先駆者・朱舜水の逝世三百年を記念し、朱舜水先生記念会と当協会は、生地の浙江省余姚に記念碑を建立。除幕式に武藤彬常陸太田市長(右二)、藤堂明保常任理事(右一)ら三百人余が出席

——1982年5月20日



中国出版代表団の宋木文団長(左)を歓迎して。井上靖会長(中)、今里廣記氏

——1982年9月8日 東京

◎4月「中国敦煌壁画展」東京・日本橋高島屋で開幕。当協会と毎日新聞社主催、開幕式に中国文物工作者代表団(任質斌団長・文物局局长、郭芳為、段文傑、

で、日本側を代表してあいさつを述べた。出席者は千人を数え、盛大な祝賀会
国交正常化十周年を迎え、人民大会堂で催された記念祝賀会には井上靖会長が、日中六団体連合代表団の団長として出席、鈴木善幸首相、櫻内義雄外相も出席する中

だった。この年、井上靖、井伏鱒二ら日本の文学者二百八十七氏が六月の第二回国連軍縮特別総会に向けて反核アピールを発表。趙紫陽総理来日。教科書検定問題で中国、韓国等から抗議。十一月にブレジネフ書記長死去、鈴木内閣総辞職、中曽根内閣発足。
◎1月 日中合作映画「未完の対局」

(徳間康快製作委員長)の製作発表。
◎3月 東洋音楽学会訪中団(田邊秀雄団長、菊地梯子らの諸氏)訪中。中国文学芸術界連合会代表団(呉堅団長、劉知俠、肖岱、劉蒙天、顧篤璜、羅焚、王玉琢の諸氏)来日。宋之光中国大使着任。「日本刻字展覧」北京展に日本刻字協会代表団(大久保翠洞団長、布施

醉石、長揚石、渡辺寒鷗らの諸氏)訪中。平凡社・中国文物出版社提携携中国石窟シリーズ「敦煌莫高窟」など刊行開始。
◎5月「邦楽四人の会」訪中団(北原篁山団長、北原安佐子、後藤すみ子、高畑美登子、高田育子、北原幸男、佐藤祥子の諸氏)訪中、北京、西安、上海で公演。第六回古代史シンポジウム「古代宮都の世界」東京で開催、当協会、全日空、朝日新聞社主催、講師に中国社会科学院考古研究所の王仲殊副所長、馬得志、徐萍芳、呂文忠の諸氏来日。「草月会」代表団(団長・勅使河原宏、秘書長・佐藤純子らの諸氏)訪中。中国・浙江省余姚に朱舜水記念碑を建立、除幕式に朱舜水先生記念会代表団(戸叶武団長、藤堂明保顧問、田山東虎副団長、白土吾夫秘書長)訪中。正力巨人軍オーナーが正力峰子、藤川魏也、中野暁らの諸氏を伴い訪中。趙紫陽総理来日、当協会など六団体主催で記念講演会(東京・NHKホール)。中国科学院地熱発電・工業余熱利用視察団(呉文団長)来日。

◎6月 中国作家代表団(嚴文井団長、



北京での国交正常化十周年祝賀会で(右から)井上靖
会長、万里副総理、鈴木善幸首相、胡厥文全人代副
委員長、櫻内義雄外相
——1982年9月28日 人民大会堂

茹志鵬、海笑、任光椿、陳喜儒の諸氏) 来日。團伊玖磨、團和子夫妻ら「音楽の旅はるか」取材で訪中。日本美術家代表団(吉田善彦団長、大山忠作、鈴木竹柏、松尾敏男、下保昭、村木明、堀泰明、林功、原信之の諸氏)訪中。金原出版と当協会の招きで中華医学会代表団(陳致明団長)来日。小原流插花友好訪中団(小原夏樹団長)訪中。
◎7月 読売サッカークラブチーム訪中団(小林興三次団長)訪中。「現代中国演劇の展望」展、東京・新宿の紀伊国屋画廊で開催。



「草月会」の勅使河原宏氏は、1980年に続き、
北京と上海で生け花のデモンストレーション
を披露した
——1982年5月9日 上海・友誼劇場

◎8月 訪中日本音楽公演団(佐伯勇団長・音楽協会理事長・近鉄会長)、白土吾夫副団長、山口昌紀近鉄秘書部長及び人間国宝の竹本津大夫(浄瑠璃)、吉田玉男(人形遣い)両氏ら四十五名訪中、北京と上海で「平家女護島」、「釣女」を上演。日本山岳協会「喬戈里峰」登山隊が世界第二の高峰・喬戈里(チヨゴリ)峰北稜からの初登頂成功。北九州市少年少女合唱団(栗林範治団長)訪中。圓城寺次郎日本経済新聞社会長が湯木義夫、木村美智子の諸氏らを伴い訪中。中国高校囲碁選手団(黄載光団長)来日。
◎9月 中日国交正常化十周年祝賀中国代表団(王震団長、楚図南、孫平化ら諸氏)来日。「中国を描く現代日本画展」(読売新聞社主催)新宿の伊勢丹美術館で開催。日中合作映画「未完の対局」完成、全国上映始まる。中国出版代表団(宋木文団長、張鳴、于溪、陳夫田、曹国輝、李芳、孟伝良の諸氏)

来日。日本「民法・環境法学者」訪中団(森島昭夫団長、野村好弘秘書長、早川武夫、小林直樹、石外克喜、土田哲也、浅野直人、伊藤和尙の諸氏)訪中。桐朋学園大学短期大学部芸術科訪中団(生江義男団長、石澤秀二、千葉中、北原安門、永曾信夫、岩浅豊明の諸氏ら、学生四十三名)訪中。日本・日中六団体連合代表団(井上靖団長、白土吾夫らの諸氏)訪中、趙紫陽総理と会見。
◎10月 日中文化交流協会代表団(宮川寅雄団長、中川一政顧問、滝澤修、朝吹登水子、林屋晴三、佐藤純子、小暮貴代の諸氏)訪中。日本「第二回中国書道研究会」訪中団(稲村雲洞団長)訪中。東京で王炳南、楚図南両氏の歓迎レセプション開催。中国演劇家代表団(曹禺団長、呂復副団長、魚訊、李玉茹、顧錫東、藍天野、方傑、于黛琴の諸氏)来日。日本「義肢・装具技術」訪中団(鋤園栄一団長)訪中。日本剣道訪中団(橋本龍太郎団長)訪中。

◎11月 日本映画人代表団(八住利雄団長、井手雅人、小林節雄、羽仁進、櫻山文枝、横川健の諸氏)訪中。中国社会科学院青少年研究所代表団(張黎群団長、謝昌達、唐若昕、王家

柏の諸氏)来日。中国科学院石炭化学考察団(鮑漢琛団長)来日。日中文化交流協会代表団(井上靖団長、井上ふみ、白土吾夫、清岡卓行、緑川亨、大越幸夫、武満徹、佐藤純子の諸氏)訪中。
◎12月 日本経済界代表団(勝本信之助団長・日本合成ゴム会長、杉浦英男本田技研会長、田村靖小松建設社長、野澤清志東京電力常務、清山信二鹿島建設専務、根本二郎日本郵船企画部長、木村美智子らの諸氏)訪中。中国現代文学館考察団(孔羅孫団長、李楓、林紹綱の諸氏)来日。

歌舞伎や能とならぶ日本の代表的伝統芸術・音楽の訪中初公演が注目された。公演団団長は音楽協会理事長の佐伯勇氏(近鉄会長)。氏は七一年に関西財界訪中団を率いて中国を訪問した。国交正常化による経済・文化交流の発展が、両国のみならず世界の平和にとって不可欠と考えた氏は、関西財界のリーダーとして、正常化への潮流を強める大きな役割を果たした。正常化直前、上海舞劇団の来日に際しても巨額に上る経費への援助を惜みず、七九年には当協会、読売新聞社とともに大阪商工会議所を率いて「中国シルクロード文物展」を主催するなど、中国との文化交流に強い情熱を持っていた。音楽訪中公演の実現は、氏にとって長年の念願であった。